

2022年3月15日

2022年度（令和4年度）

# 事業計画書



公益財団法人キープ協会

# 目次

2022 年度 事業計画の方針・重点項目	3
.....	
公益Ⅰ. 環境保全及び環境教育の研究と教育・普及に関する事業	4
1. 環境教育	
2. 「～八ヶ岳環境と文化のむら～山梨県立八ヶ岳自然ふれあいセンター」 指定管理業務	
3. 環境省日光国立公園「那須平成の森」運営管理業務	
4. 山梨県地球温暖化防止活動推進センターの指定受託	
5. 環境研究所	
6. 地域における環境教育事業	
7. 専門スタッフの育成	
公益Ⅱ. 高冷地での農業生産及び地域農産物の高付加価値化に関する事業	6
1. 生産農場として	
2. 教育農場として	
3. 食育として	
公益Ⅲ. 青少年をはじめとする多様なコミュニティに対して体験・研修・合宿を 提供する事業	7
1. 清泉寮	
2. 自然学校・キャンプ場	
3. ポール・ラッシュ記念館	
公益Ⅳ. 国際交流・協力及び地域社会の活性化に関する事業	9
1. 国際交流事業	
2. 地域連携事業	
公益Ⅴ. 幼児の育成と子育てに関する事業(清里聖ヨハネ保育園)	11
1. 地域のニーズに合わせた子育て支援	
2. 保育の質の向上	
3. 「異年齢児保育」と「森の保育」の継続	
4. 自然のリズムを大切にした食事の推進	
5. 園舎内及び周辺環境整備	
6. 研修実施・視察受け入れ等を通じた人材育成	
7. 他部署(自然学校及び環境教育事業部)との連携	
8. 保護者や地域の方々との協働	
9. 卒園児のバックアップ	

---

収益Ⅰ. 自家製造食品及び地域特産品等の普及・販売等	12
1. 2022 年度重点業務	
2. 通常業務	
収益Ⅱ. 宿泊設備を使ったホテル事業	13
1. 清泉寮	

---

本部（管理部門）	14
1. 総務	
2. 経理	
3. 施設	
4. 営業企画本部	
(1) 企画	
(2) 団体営業	

---

## 2022 年度 事業計画の方針・重点項目

公益事業に係る中長期計画に基づき、2022 年度事業計画を検討・実施する。

### ■公益事業重点項目

#### 1. 教育機能の強化：

教育研修、環境教育、保育等を通じ、世代や立場を超えた人々のための学びの場を創出する。

#### 2. 農場の強化：（一番美しい牧場＝清泉寮ジャージー牧場）

景観やお客様に配慮した設備・案内看板類を充実させる。

高冷地酪農事業、希少なジャージー牛、有機 JAS 認定牛乳、アニマルウェルフェア等に係る情報発信を強化する。

#### 3. 保育事業の運営体制見直し：

幼児の育成と子育てに関する事業活動をさらに活性化する諸施策を実施する。

#### 4. 地域社会への貢献：

研修交流、農場、保育園等、各種事業部を通じて地域社会の健全な発展に寄与する。

#### 5. 人材育成支援：

環境教育、保育園、研修交流等の各事業を支えるスタッフの育成及び専門的なスキルアップを目指す人材への支援を強化する。

### 【収益事業重点項目】

ウィズコロナ・アフターコロナにおける必要収益水準の確保  
公益財団法人としての活動を支える収益事業体制の見直し・強化

#### 1. 体制見直し：

各収益事業の業務体制を見直し、再構築する。

#### 2. お客様を迎える態勢整備：

施設等の整備、プログラムの充実と利便性の向上に取り組む。

#### 3. 関係部門の連携強化：

公益事業及び関係部門との連携を強化して、組織が一体化した事業運営を目指す。

#### 4. 人材育成強化：

各スタッフのスキルアップを目的に、職員教育、研修の実施・提供や人事制度の見直し等を行うとともに、職員が働きやすい職場環境作りに取り組む。

# 公益 I. 環境保全及び環境教育の研究と教育・普及に関する事業

## 1. 環境教育

環境教育研究と地域の自然情報・ヤマネの総合的な研究蓄積を基盤に、市民・学校・企業・行政など多様な主体との協働による環境教育事業及び環境保全事業を、清里・那須及び国内外で展開し、持続可能な社会実現に寄与する。

### (1) キープ・フォレスターズ・スクール

#### ① キープ・フォレスターズ・スクールの役割

ESD・総合的な環境教育の推進、環境教育プログラムの提供及び研究・開発、環境教育ネットワークの支援、「インタープリター」の役割の普及

#### ② 2022年度の重点目標

1. 新規ニーズの開拓
2. オンラインを含めた活動展開
3. 森の多面的活用（ワーケーション、リトリート、森のようちえん等）
4. 自然×文化・歴史・暮らしのインタープリテーション

#### ③ 主催事業

「実験」「協働」をキーワードにした魅力的なプログラムの開発・実施

#### ④ 受託事業

自然体験型環境教育プログラム、人材育成事業、教材開発、SDGs 事業、CSR 事業、講演、執筆等

#### ⑤ 指導教育・人材育成

職員教育・スキルアップ支援、環境教育の専門家を目指す研修生・インターン生の受入れ、指導者育成研修、研究者への支援・フィールド提供

### (2) 清泉寮やまねミュージアム

#### ① 清泉寮やまねミュージアムの役割

ヤマネの総合的な研究への協力・情報の蓄積、ヤマネ研究者とのネットワーク構築、森林生物多様性保全の提案への協力、環境教育・環境保全策の普及啓発

#### ② 2022年度の重点目標

これまでの研究成果の教育への展開、プログラム化と地域への普及。研究を活かした教育事業の館内展示等で発信と情報蓄積。論文発表・学会発表・シンポジウムへの協力。オンライン館内ツアー等、コロナ禍の中で展開された新たな実践の普及

#### ③ 2022年度の事業計画

国内外での総合的なヤマネ研究・保護及び生物多様性研究の推進への協力。アニマルパスウェイの国内外の開発と普及への協力、国内外の研究者との連携・情報交換・共同研究、研究成果を活かした展示や環境教育プログラムの開発・実施、「やまねミュージアム」の管理運営、ヤマネ関連グッズの開発・販売、老朽化する建物の維持・管理・補修、ボランティアとの連携

## 2. 「～八ヶ岳環境と文化のむら～山梨県立八ヶ岳自然ふれあいセンター」指定管理業務

第4期4年目の指定管理業務を担当する。山梨県及び八ヶ岳エリアの環境教育センターとしての役割を発展させることを目指し、事業の企画運営や施設の管理を行う。

### (1) 山梨県立八ヶ岳自然ふれあいセンターの役割

自然環境に関する情報と学習の機会を提供することを通して、山梨県の良い環境の保全と継承に貢献する。

### (2) 事業内容

- ・基本方針並びに運営目標等に基づいた事業（館内展示、自然体験プログラム、企画事業等）の実施
- ・施設及び設備の維持管理
- ・自然ふれあい施設としての機能（自然調査、教材開発）
- ・周辺の文化施設や地域にあるネットワークとの連携
- ・ボランティアとの協働

- ・利用促進業務
- ・自主事業（環境教育関連書籍やグッズの販売、スノーシューの貸し出し等）の実施

### 3. 環境省日光国立公園「那須平成の森」運営管理業務

「那須平成の森（フィールドセンター）」の運営管理を請負って12年目（1期3年として第4期の3年目）の業務を実施する。

#### (1) 2022年度の重点目標

- ①「明日の日本を支える観光ビジョン構想会議（議長：内閣総理大臣）」で決定された「国立公園満喫プロジェクト」に係る事業として、「日本の自然ふれあい施設における人材育成事業の拠点とする」事業を実施する。2020年度から実施予定だったが、コロナウイルス対策として集合型の事業を控えていた。
- ②2022年度から2ヶ年をかけ中長期的な方針である「マスタープラン」を作成する。2022年度は2023年度からの第5期に向け、「マスタープラン」に基づいた運営管理の方策を検討していく。
- ③2年間に渡るコロナ禍の中、新たな生活様式によって起きる国民の行動変容の傾向が徐々に判明してきた。この傾向を慎重に分析し、環境省、栃木県、那須町、JR、観光協会等、地域の関係者と協力して那須への誘客、自然体験プログラムへの参加者増対策に取り組む。

#### (2) 事業内容

- ①(1)の人材育成事業の他、主たる自然体験事業である「インタープリターと歩く那須平成の森ガイドウォーク」、「自然体験・学習プログラム」、「無料ミニプログラム」、受託事業（学校団体等のプログラム）を推進する。
- ②4期中に実施すべき提案書に記した6つの展示、9の自然教育プログラムについて、事業を完遂させる。
- ③国立公園満喫プロジェクト関連の各種業務の実施、国立那須甲子青少年自然の家（福島県）との連携を深め、公園の環境維持管理等、那須平成の森の運営と管理を円滑に行う。

### 4. 山梨県地球温暖化防止活動推進センターの指定受託

8年度目（1期5年2期目の3年目）の地球温暖化防止活動推進センター業務を行う。

- (1) 地球温暖化の現状及び地球温暖化対策の重要性についての啓発及び広報活動
- (2) 地球温暖化防止活動推進員及び地球温暖化対策の推進を図るための活動を行う民間団体の活動支援
- (3) 日常生活に関する温室効果ガスの排出抑制のための措置についての照会、相談及び助言
- (4) 日常生活に関する温室効果ガス排出実態についての調査、分析への協力
- (5) 定期的又は時宜に応じた上記調査分析結果の提供

### 5. 環境研究所

環境教育事業部の機能の1つとして、事業部横断的に研究活動を行う。

- (1) 環境保全研究（清泉寮やまねミュージアムを中心として）
- (2) 環境教育研究  
植林・森林保全作業を通じた環境教育の研究及び実践、環境教育実践の整理・研究・発表、指導教育に関する研究

### 6. 地域における環境教育事業

地域との協働を通じた環境教育事業に取り組む。

#### (1) 事業内容

地域の教育機関・福祉機関等への協力、やまなし環境教育ミーティングの開催、森の楽童など地域住民への環境教育、地域内各種ネットワークへの参画  
北杜市内小学生の清泉寮やまねミュージアム入館無料対応

### 7. 専門スタッフの育成

環境教育の専門家を目指す人材へのスキルアップ支援及びフィールド提供等を行う。

## 公益Ⅱ. 高冷地での農業生産及び地域農産物の高付加価値化に関する事業

### ～ 地域農業の活性化 ～

#### 1. 生産農場として

- (1) 標高 1,250m～1,400m の高冷地、傾斜地での牛乳生産を行う。  
飼育頭数 90～100 頭（内訳：成牛 60 頭、育成牛 15 頭、仔牛 10 頭、雄仔牛 15 頭）とし、搾乳頭数は年間平均で 48 頭、総生産量は年間 170,000 kg（内 7,300 kg は哺乳用）を目指す。繁殖管理等の日常管理の技術的向上に取り組み、安心安全にこだわった有機 JAS 牛乳の生産を行う。
- (2) 粗飼料の完全自給を目指し、圃場（採草地 27.8 ha、放牧地 21.4 ha）整備の推進と共に、生産性の向上、環境整備（牧柵の整備等）に取り組む。
- (3) 牧草地に堆肥、尿等の散布を行い、循環型酪農を推進する。
- (4) 山梨県畜産課、畜酪総合センター・家畜共済と協力し、家畜衛生管理を徹底する。
- (5) 環境負荷軽減型酪農経営支援事業助成金を活用し、酪農に起因する環境負荷の軽減を図る。
- (6) 「アニマルウェルフェア」の考え方を踏まえた飼育に取り組み、山梨県が新たに創設した「アニマルウェルフェア認証制度」の認定取得に取り組む。

#### 2. 教育農場として

- (1) 後継者の育成及び学習の場の提供として、短期及び長期実習生、大学等の学生・研修生の受け入れを行う。
- (2) 他部署との連携強化により、一般来訪者から学校団体までを対象とした日帰り型・宿泊型の牧場体験プログラムを充実させていく。
- (3) 施設見学や牧場体験プログラム等を多くの方々に広く提供し、「高冷地酪農」、「循環型酪農」、「ジャージー牛」、「有機 JAS 認定牛乳」、「アニマルウェルフェア」についての理解醸成を図る。

#### 3. 食育として

- (1) 「食育」の一環として、清泉寮有機 JAS ジャージー牛乳の普及及び関連乳製品の開発、普及促進を図る。
- (2) 「循環型酪農」の一環として、雄仔牛・交雑種の肥育、牛肉の生産を行い、施設内のレストラン等に食材として提供する。

## 公益Ⅲ. 青少年をはじめとする多様なコミュニティに対して体験・研修・合宿を提供する事業

～ 地域のランドマークとして地域活性化に貢献 ～

### 1. 清泉寮

研修宿泊施設、公益財団法人キープ協会の中核施設、地域のランドマークとしての役割を果たす。

- (1) 関係行政機関の指導に沿った、利用者及び職員にとって安全安心、かつ消費エネルギーの削減など環境にも配慮した施設運営
- (2) 教育旅行及び企業や各種団体の宿泊研修利用の受け入れ
- (3) 手作りや地域の良質な旬の食材にこだわった、安全安心で美味しい食の提供
- (4) 清泉寮ジャージー牧場を活かした酪農プログラム及び八ヶ岳自然ふれあいセンターを活用した環境教育プログラムの提供
- (5) 地域に開かれたコンサートやイベントの開催と適切な運営

### 2. 自然学校・キャンプ場

通年営業の清泉寮自然学校、夏季(7月～9月)営業の清泉寮キャンプ場の2つの研修宿泊施設を清泉寮と連携しながら運営を行う。

- (1) 小学校から大学・各種学校まで、幅広い教育旅行団体の受け入れ
- (2) 幼稚園、保育園の園児及びそれに関わる職員や研究者など、幼児教育に関わる幅広い団体の受け入れ
- (3) 地域の生産者とも連携した、安全安心で健康的な食事と食プログラムの提供  
豊かな自然環境を活かした自然体験、生産牧場である清泉寮ジャージー牧場での酪農体験を中心とした体験プログラムの提供
- (4) 環境教育事業部、酪農事業部、清里聖ヨハネ保育園、清泉寮、企画部など、キープ協会各部署と連携した、子どもキャンプ、親子キャンプ、英語キャンプなどの主催キャンプの企画と実施
- (5) 将来を見据えた様々なプログラム開発と、それに担う内外の人材育成

### 3. ポール・ラッシュ記念館

公益財団法人キープ協会の根幹であるポール・ラッシュ博士の業績を広く紹介する仕組みづくりを進めると共に、キープ協会の広報・教育機能の一端も担う。

#### (1) 博物館業務

ポール・ラッシュ博士の業績や歴史を紹介する通常の開館業務、博士に関する資料のデジタルアーカイブ化作業の継続、収蔵資料や美術品の保存・管理業務、歴史的建造物としてポール・ラッシュ邸の修繕・保護・活用、新型コロナウイルス感染拡大状況下でのインターネットを活用した新たな取組の実践

#### (2) 企画展

時期ごとに変化のある企画展(年数回)、周年記念事業と連携した特別企画展の開催

#### (3) 日本アメリカンフットボールの殿堂

日本アメリカンフットボール協会からの寄託。来館者にアメリカンフットボールに触れる機会の提供、競技の普及活動

#### (4) 広報活動

県・市や対外的な機関との連携、メディアやSNSを駆使し積極的に展開

#### (5) 教育普及活動

文化庁の研修を修了したミュージアムエデュケーターが独自プログラムを実施するほか、他部署とも連携し歴史・文化のプログラムを行う

#### (6) 他部署との連携

- ①公益Ⅲ 清泉寮・自然学校利用者の入館無料
- ②公益Ⅳ「1. 国際交流事業」(1)(2)(3)(5)(6)について担当部署と協働



(7) 地域貢献

- ①地域の博物館・美術館等が参画する八ヶ岳ミュージアム協議会の創設館として、地域ミュージアムとの連携を継続
- ②良質な文化を届けることを目的に、他部署と連携し、音楽会などを開催
- ③北杜市清里地域活性化委員会へスタッフ派遣
- ④北杜市内の小中学生の入館無料対応

(8) 受託事業

学校・ミュージアム等の教育機関、企業等に講演、執筆等を行う

(9) 教育支援

立教大学でボランティア活動を行う学生を対象に、ポール・ラッシュ博士記念奨学金を給付

## 公益 IV. 国際交流・協力及び地域社会の活性化に関する事業

～ 新型コロナで中断された事業の再開に向けて ～

### 1. 国際交流事業

「異なるものをつなぐ」「青年への希望」を軸に、国際交流を通じた青少年育成及び地域貢献を目指す。地域の学校や国内外の大学・NGO等の多様なコミュニティと連携し、事業内容の充実と発展に取り組む。また、各国の新型コロナウイルス感染拡大状況を注視し、交流事業の実施における安全性の確保と配慮に努める。引き続きオンラインでの教育・交流プログラムの開発・実施に取り組む。

#### (1) ケンタッキー交流事業【北杜市受託事業】

北杜市とケンタッキー州との姉妹地域間交流事業の実施に協力し、小中学生から大人までの幅広い年齢層の友好親善と、ポール・ラッシュの理念の普及と継承を図る。

- ① 北杜市代表団訪米事業(5月)
- ② 中学生ホームステイ交流事業(7～8月)
- ③ マディソン郡代表団受入事業(10月)
- ④ 日米文化交流(北杜市交流員派遣 5月、マディソン郡交流員受入 10月)
- ⑤ 子ども絵画交流(通年)

#### (2) 北杜市中中学生海外交流事業【北杜市受託事業】

北杜市による中学生のカナダ派遣・交流事業の実施に協力する。(8月)

#### (3) 国内外のインターン生の受入れ(5～12月)

日本・アメリカ・フランス・フィリピン等から青年を受け入れ、青年の学びと実践の機会を提供し、ポール・ラッシュの理念の継承を図る。

#### (4) 地域への国際理解プログラムの実施(通年)

地域の青少年育成と地域社会への貢献を図るため、環境教育、国際理解・英語教育等の分野で事業協力を行う。

##### ① 地域での主催英語教育プログラムの提供

国際交流をキーワードに、地域の子どもから大人へ独自の英語教育プログラムを提供する。オンライン形式のプログラム開発に取り組む。

##### ② 地域の学校への協力

北杜市立甲陵高校等の地域の学校へ、文部科学省主管のSSH(スーパーサイエンスハイスクール)事業等の「英語」「国際理解」のためのプログラムを実施し、青年の育成及び地域への貢献を図る。また、「公益I。」で行う環境教育事業と連携し、さらなる教育効果の向上を図る。

#### (5) 絆プロジェクト【ピース・フィールド・ジャパン主催】への協力

イスラエル・パレスチナ・日本の青年平和交流プログラムの受入を通して中東の平和構築、青年の国際理解・親善に寄与する。

#### (6) 北フィリピン青年育成事業への協力(通年)

インターン生の受入、現地の青年事業への協力等を行う。

#### (7) 国際交流団体・公的機関との連携(通年)

米国大使館、山梨県国際交流協会、国際交流北杜地域連絡協議会等の諸団体との連携を図る。

～ 地域社会の健全な発展に貢献 ～

### 2. 地域連携事業

#### (1) ポール・ラッシュ祭～八ヶ岳カンティフェア～2022の開催

#### (2) 地域連携業務

- ① フードバンク山梨や北杜市社会福祉協議会等と連携し、貧困な環境に置かれた子供たちの支援を行う。特にフードバンク山梨に対しては、新山梨フードバンクセンター建設に係る寄付金を提供する。
- ② NPO法人清里観光振興会に理事として関わり、組織運営に積極的に参画する。
- ③ 北杜市清里地域活性化委員会に委員として関わり、北杜市の地域活性に参画する。
- ④ 八ヶ岳観光圏事業や清里観光振興会等の地域各種団体・組織と連携し、歴史・文化・観光等の側面から地域連携を推進する。

- ⑤ ハヶ岳音楽祭をはじめ、地域の音楽活動に発表の場を提供するとともに、活動を支援する。
- ⑥ 写真展・絵画展等の発表の場を提供するとともに、地域の芸術活動を支援する。
- ⑦ 地域団体と連携して美化・清掃活動を行う。
- ⑧ 地元消防団、行政区、神社、警察関連機関等へ支援を行う。

## 公益 V. 幼児の育成と子育てに関する事業（清里聖ヨハネ保育園）

～ 育児・子育て支援を通じた「地域社会の健全な発展」に貢献 ～

～ 幼児の育成 ～ 幼児の主体性を大切に・豊かな感性を育む

「一人ひとりを祝福する保育」を保育目標に掲げ、「森の保育園」のコンセプトのもと、地域資源である豊かな自然環境を積極的に活かした保育活動に取り組む。また、地域に開かれたコミュニティセンターとして、地域における教育や子育てに関わる事業に積極的に取り組み、地域社会の持続可能な発展に貢献する。

### 1. 地域のニーズに合わせた子育て支援

子どもたちの受け入れ体制強化のため、認可保育所から認定こども園へ移行すると共に、事業所内保育所を開設する。両園は密に連携することで保育の統一化を進める。また、行政と協力して引き続き保護者のための子育て支援を行う。

### 2. 保育の質の向上

「キリスト教保育」「森の保育」「野外活動におけるリスクマネジメント」「各部門における理解」の4点について、質の向上を目指す。

### 3. 「異年齢児保育」と「森の保育」の継続

従来の保育方針を継続し、森の保育活動の実践を充実させ、それを基にした森の保育のカリキュラム作りに取り組む。また、異年齢児グループと年齢別グループのそれぞれの良さを組み合わせた活動や生活を展開する。

### 4. 自然のリズムを大切にした食事の推進

自然のリズムに配慮した生産活動への理解や、旬の食材利用、生産者の方々とのつながりを大切にしたい食事や食育に取り組む。また、アレルギー対応食の提供や、「食」の体験活動にも積極的に取り組む。

### 5. 園舎内及び周辺環境整備

保育園での暮らしをより充実させるため、園舎内及び周辺環境整備を長期的ビジョンの下計画的に進める。特に、「森庭」の整備を重点的に進める。

### 6. 研修実施・視察受け入れ等を通じた人材育成

スタッフのスキルとチーム力向上のため、園内研修実施と園外研修への参加を進める。また、自然学校や清泉寮等と連携して、各種保育団体や学校等の視察・研修等を受け入れる。更に、研究者との連携やフィールドの提供を行い、広く幼児教育・保育に関わる人材育成に貢献する。

### 7. 他部署（自然学校及び環境教育事業部）との連携

自然学校や環境教育事業部と、フィールドの使用、整備等で協働する。また地域主催の「森の楽童」においてはフィールドにおいての協力等を行う。

### 8. 保護者や地域の方々との協働

「大屋根マルシェ」「文庫活動」等地域の子育て支援、幼児教育の向上を目的とした活動に対して園舎を提供し、保護者や地域の方々と共に創り実践を重ねる。

### 9. 卒園児のバックアップ

次世代の青少年育成支援のため、保護者主催の「卒園児キャンプ」への協力を行う。

## 収益 I. 自家製造食品及び地域特産品等の普及・販売等（製販事業部）

公益財団法人キープ協会が行う公益事業の経済的基盤を支えるため、自家製品や地域特産品の販売等を中心とした様々な事業により、収益の確保を図る。

### 1. 2022 年度重点業務

- (1) 効率的な業務運営及びデータ管理の強化
  - ①新 POS システムの導入
  - ②ファームショップのセルフ化
- (2) 店舗周辺を中心とした景観改善
  - ①来訪者の記憶に残る景観づくり
  - ②高原らしい景観を維持するための環境整備
  - ③自然との調和を考えた緑化推進
  - ④高冷地ならではのガーデン整備
- (3) 通信販売の利用促進
  - ①インターネット販売を主とした商品企画
  - ②ふるさと納税返礼品の拡充
- (4) 商品開発
  - ①ジャージー乳製品及びジャージー牛乳を使用した清泉寮ならではの製品
  - ②安心素材や地域農産物を使用した付加価値の高い製品
- (5) キープ内容単価の向上を図る、お客様の滞在時間延長化
  - ①清泉寮ジャージーハットを中心とした運営
  - ②店舗間連携による複数店舗の利用促進
  - ③居心地の良い環境・空間の整備
  - ④購買意欲を増加させる運営及び接客サービス
  - ⑤子どもを対象とした運営及び設備の充実
  - ⑥雨天時対策
- (6) お客様から共感を得るための職員教育
  - ①キープの一員としての意識向上
  - ②接客・サービス研修
  - ③あらゆる商品知識の習得

### 2. 通常業務

- (1) 店舗運営（清泉寮ギフトショップ・清泉寮ジャージーハット・清泉寮ファームショップ、清泉寮新館売店）
- (2) 通信販売及びインターネット販売
- (3) 清泉寮ソフトクリーム及びジャージー乳製品の出張販売
- (4) 地域生産品及びフェアトレード製品などの公益性のある製品の積極的な利用と販売
- (5) 「人と地球の健康」をキーワードとした観光地での安心出来る食の提供
- (6) 集客を図る効果的な宣伝広報
- (7) ホームページを利用した情報発信
- (8) 購買の一元化による効率的な仕入・在庫管理
- (9) 業務の効率化によるコスト削減
- (10) 各店舗間における職員・スタッフの柔軟なシフトによる人事の効率化
- (11) 各種機械化による業務効率化

## 収益Ⅱ．宿泊設備を使ったホテル事業

### 1．清泉寮

公益財団法人キープ協会の公益事業を支える収益を確保する。

- (1) 新ホテルシステムの導入によるオペレーション効率化と、各種データの集積と活用
- (2) アンケートの見直しなどを通じた、顧客から支持される施設やサービスの改善
- (3) WEB や印刷物を活かした、宿泊稼働やファンの獲得に繋がる情報発信
- (4) 顧客の定着と拡大に繋げる会員制度の拡充
- (5) コロナ禍の推移を見据えた、イベント・ミーティング・ブライダルなどの新たな形への対応
- (6) 宿泊者専用レストランの魅力・こだわりを情報発信

## 本部(管理部門)

公益財団法人の管理部門として、総務・経理・施設・企画・団体営業の各部を置きます。

### 1. 総務

- (1) 法人の運営全般（理事会・評議員会の運営管理含む）
- (2) 関係団体との窓口
- (3) 職員の採用・管理、福利厚生等
- (4) 職員の研究業務のためのサポートやフィールド提供

### 2. 経理

- (1) 法人の財務・収益管理

### 3. 施設

- (1) 法人の施設の維持、管理、修繕
- (2) 施設更新に関する意見具申

## 4. 営業企画本部

### 企画

キープ協会全体の情報を収集・管理し、SNS やプレスリリースなどの広報媒体による発信

- (1) 商品・景色・プログラム等の画像・動画撮影による素材収集
- (2) 画像・動画ライブラリー整備
- (3) 清泉寮・キープ協会の WEB 管理
- (4) SNS を活用した情報発信（Facebook、Instagram、Twitter、YouTube の連携）
- (5) 季節ごとの魅力を配信する画像・動画作成
- (6) プレスリリース配信管理
- (7) メールマガジン配信管理
- (8) 宿泊プラン・イベント等の営業に係る進捗管理

### 団体営業

キープ協会を利用する学校・団体等のお客様の満足度を高め、安全・安心なサービスを提供

公益事業を支える基礎となる、日帰り団体等の集客営業

協会全体に係る団体情報の一元管理

- (1) 新規営業対象先、エージェント、既存利用団体の情報を集約し、新規・リピーター利用を促す営業を展開
- (2) 清泉寮・自然学校の宿泊団体の獲得
- (3) レストラン日帰りランチ団体の獲得
- (4) 売店・ソフトクリーム利用の日帰りバスツアーの獲得
- (5) レストランを利用した各種パーティー（忘年会・新年会・謝恩会・ブライダル）の獲得